



子ども議会議長



中学生議員



小学生議員

浪江町子ども議会

12月定例会

定例会

議案要旨	P 2
議案審議	P 3
採決状況	P 4
一般質問	P 5 ~ P 9

委員会のうごき	P 10 ~ P 12
委員会活動報告	P 13 ~ P 16
議会・議長活動報告	P 17
町民交流会開催結果	P 18 ~ P 19
町民の声	P 20

2億4,457万円の 補正予算案を **可決!**

要 旨

12月定例会は、12月10日から17日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは専決処分の承認、条例の改正、契約の変更、指定管理者の指定、令和6年度補正予算など16件の議案が提出されました。また、議会からは1件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3ページ、審議結果（採決状況）は4ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 条例改正のうち、**浪江町手数料徴収条例及び浪江町印鑑条例**については、コンビニ交付サービスによる各種行政証明書や印鑑登録証明書の発行開始及び土地・建物・諸税等の手数料見直し等のため、所要の改正を行うものです。
- 一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び職員の給与に関する条例**については、令和6年10月2日に出された福島県人事委員会の給与勧告に伴い、条例の一部改正をするものです。
- 町長等の諸給与支給に関する条例及び議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例**については、福島県人事委員会の給与勧告に伴い、町長・副町長・教育長及び議員の期末手当の率の改正を行うものです。
- 土地の処分**については、福島県が施工する防災林造成事業に伴い、棚塩地内の土地を処分するもので、処分予定価格は1億1,688万5,516円です。
- 補正予算のうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ2億4,457万円増額するもので、これにより予算総額は336億1,033万3千円となります。

《歳出補正予算の主なもの及び理由》

公共用施設維持基金 積立金	1億7,507万9千円	公営住宅の家賃低廉化分の福島再生加速化交付金等を積み立てるもの
福島再生加速化交付金 国庫返還金	1億9,997万円	乾燥調製貯蔵施設の精算完了に伴う金額確定により交付金を返還するもの
浪江町帰還・移住等環境 整備交付金基金積立金	2億4,688万8千円	福島再生加速化交付金における室原産業団地整備事業分を積み立てるもの
公有財産購入費	3,351万7千円	こども園の増築に係る土地購入費用の増によるもの
双葉地方広域市町村圏組合 負担金	6,234万5千円	南部衛生センター焼却施設整備事業に係る負担金の増によるもの
水素民生・産業利用 サプライチェーン構築及び 需給調整実証事業委託料	3,630万円	実証事業終了に伴う設備撤去費用の増によるもの
ふくしま森林再生事業業務委託料	1,650万円	既発注事業の立野・谷津田・高瀬地区での実施範囲拡大に伴う委託料の増によるもの
企業誘致促進費	2億2,637万円	室原産業団地整備に係る委託料及び公有財産購入費用の増によるもの

主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

契約の変更

【98】工事請負契約の変更について(さけふ化施設送水設備工事)

【4,007万4,100円の減】

【提案理由】当初想定より状況が変わった事により、送水管の設置工事の変更が必要になったため契約を変更するものです。

【質問(小澤)】工事発注後に既存施設の解体が決定したとありますが、どのような理由、経緯なのかお尋ねします。

また、その解体に伴う費用負担の説明もお願いします。

【農林水産課長】今回の工事の

対象の井手ふ化場内は、泉田川漁業協同組合で将来的に活用するということでしたので、それに基づく設計をしていきましたが、発注後、改めて議論をされて環境省による解体を決定され、その工事に支障が出るということで、配管ルートの変更をしました。

よって、解体経費は環境省解体ということになります。

(賛成全員で可決)

指定管理者の指定

【100】指定管理者の指定について(浪江町交流・情報発信拠点施設)

【提案理由】浪江町公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の規定に基づき選定した候補者(一般社団法人まちづくりなみえ)を、浪江町交流・情報発信拠点施設の指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるものです。

【質問(小澤)】①審査委員会のメンバーとその選定理由について

②指定管理者の選定方法について ③12月12日に候補者の決定が町HPに掲載されましたが、その理由についてお尋ねします。

【産業振興課長】①審査委員会のメンバーは規定されている副町長、総務課長、企画財政課長、所管の産業振興課長、関連のある農林水産課長、そのほか東北地方整備局、相双建設事務所から一人ずつ、また商工会の事務局長にも入っていただき計8名となります。

②審査員に審査いただいた平均を取り、200点満点中141・5点、約7割の得点となりました。

③プロポーザル※の結果を公表するとしていましたので、結果がまずはこのように決まりましたということを公表しました。

【再質問(小澤)】①何点以上であればOKという基準はありましたか

②議会に諮る前に候補者の決定を公表するというのはどうなのかという点を確認します。

【産業振興課長】①6割以上としています。

②指定管理者の決定ではなく、プロポーザルの結果として公表しました。

(賛成全員で可決)

補正予算

【101】令和6年度一般会計補正予算(第4号)

【質問(佐々木勇)】消耗品で1,600万円の減、除草剤配布事業の実績によると説明がありました。詳細な説明をお願いします。

【住民課長】除草剤配布事業は12月終了予定としており、その実績見込みによる減となります。12月必要分は確保しつつ、剰余分と契約の請け差が減額となっています。

【質問(小澤)】住宅整備費の手数料とは何か説明願います。

【住宅水道課長】駅前に整備す

る公営住宅の建築確認申請等の手数料です。

(賛成全員で可決)

人事案件



【5】教育委員会委員の任命

門馬 和枝氏(下津島)を任命することに同意しました。

※プロポーザル方式

業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

令和6年12月定例会の採決状況 (12月17日採決)

議案番号	議 案	○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連 ページ
			議決 結果	武 藤 晴 男	細 野 豊	吉 田 邦 弘	平 本 佳 司	小 澤 英 之	半 谷 正 夫	細 野 則 夫	佐 々 木 茂	山 本 幸 一 郎	高 野 武	渡 邊 泰 彦	松 田 孝 司	佐 々 木 勇 治	山 崎 博 文	細 野 榮 重	
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度浪江町一般会計補正予算(第3号))		承認	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
議案第93号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第94号	町長等の諸給与支給に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第95号	職員の給与に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第96号	浪江町手数料徴収条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第97号	浪江町印鑑条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第98号	工事請負契約の変更について(さけふ化施設送水設備工事)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	3
議案第99号	土地の処分について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2
議案第100号	指定管理者の指定について(浪江町交流・情報発信拠点施設)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	3
議案第101号	令和6年度浪江町一般会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	2・3
議案第102号	令和6年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
議案第103号	令和6年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
議案第104号	令和6年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
議案第105号	令和6年度浪江町水道事業会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
議案第106号	令和6年度浪江町公共下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
同意第5号	教育委員会委員の任命について		同意	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	3
発委第1号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	—
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について		決定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



※平本佳司議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わることができません。
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



会議結果一覧へ
アクセスします

議会における 情報公開の施行状況

令和6年における浪江町議会の情報公開の状況は、次のとおりです。

情報公開請求件数 0件
 情報公開件数 0件

4 議員が質問

■紺野 豊（6ページ）

- (1) 福島再生加速化交付金について
- (2) 高校の再開について
- (3) カントリーエレベーターについて
- (4) 産業団地について
- (5) 行政区について
- (6) 衆議院議員総選挙について
- (7) 医療費等の助成・補助について
- (8) 浪江町復興コミュニティ事業補助金について

■松田 孝司（7ページ）

- (1) 避難指示解除後10年について
- (2) 生活環境などについて
- (3) 防災について

■渡邊 泰彦（8ページ）

- (1) 将来の公共施設の運営について
- (2) 将来の研究施設のかかわりについて

■山本 幸一郎（9ページ）

- (1) 農地整備事業（ほ場整備）について
- (2) 浪江駅周辺整備事業について
- (3) 仮設津島診療所について
- (4) 特定帰還居住区域について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。
議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を
合わせて1000文字程度に要約していますので、ご了承ください。

町政と問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。



この
紺野ゆたか
豊 議員

Q

福島再生加速化交付金見直しに関する町の考え方は

A

引き続き、復興に必要な財源を県と連携しながら国に支援を求めています

福島再生加速化交付金について

質問 福島再生加速化交付金の見直しについて町の考え方を伺います。

町長 避難指示解除後の10年を一つの目安として補助事業の見直しが検討され、自治体負担の議論や帰還意向の有無を前提とした事業の精査等の見直しは、到底理解しかねるものです。引き続き、復興に必要な財源確保等、県と連携しながら国の支援について強く求めています。

高校の再開について

質問 十日市祭において町民アンケートをとり浪江高校の再開を望む声がありました。現在の状況と併せ再開の目的が立っているのか伺います。

教育長 県教育委員会によると現時点での再開は未定であり地域の復興状況、また郡内小・中学校の就学状況を継続して注視していくとことです。



川添産業団地の予定地

産業団地の財源確保

併せて町としても郡内の高校は復興に欠かせない役割がありますので、継続して双葉地区教育長会として引き続き要望していきます。

質問 川添産業団地の財源確保は大丈夫なのか伺います。

産業振興課長

今年度着手した用地測量については福島再生加速化交付金を活用しており、今後、用地買収に係る経費や設計費・造成工事などは引き続き国へ事業の必要性を説明し、財源を確保し整備を進めます。

医療費等の助成・補助

質問 医療費等の助成・補助、予防接種助成・補助は町ではどのような助成・補助があるのか具体的に伺います。

健康保険課長

町では定期予防接種として17種類の予防接種に係る費用に対して補助・助成をしています。

再質問

带状疱疹等の助成・補助は大熊町や南相馬市が助成をしています。当町でも助成補助すべきと考えますが伺います。

健康保険課長

带状疱疹ワクチンの接種費用については福島県議会より衆・参両院議長及び厚労大臣に定期接種化を要望する意見書が提出されています。

現在国では高齢者を対象として定期接種化の検討が行われています。

浪江町復興コミュニティ事業補助金

質問 ①現在どのような状況になっているのか ②今の利用状況はどうなっているのか伺います。

介護福祉課長

①事業補助金については東日本大震災からの復興の実現を図るため、復興を目的としたまちづくりを推進する団体が実施する町内外の事業に対し補助金を交付しております。
②今の利用状況は令和6年4月から申請の受付を開始し町内事業20件、町外事業14件の申請があり当該補助金を利用した事業を行っています。

再質問

代表者が同じで団体が違う場合についての交付はありますか伺います。

介護福祉課長

交付団体の事業内容について精査していますので、代表者が同一であっても交付している状況です。



まつ だ たか し
● 松田 孝司 議員 ●

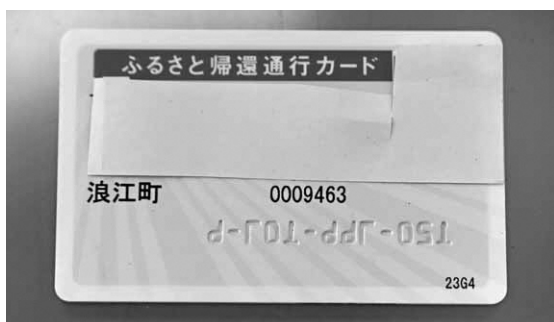
Q 高速道の無料措置の延長要望は

A 期限の延長については継続して要望しています

避難指示解除後10年について

質問 高速道路の無料措置が避難指示の解除から10年で終了と言われていますが、そうすると自分の土地の管理のため避難先から燃料代と高速料金がかかると思うのが厳しくなると言っている人が大半です。町でも高速道路の無料延長要望を考えているか伺います。

総務課長 現時点のふるさと帰還通行カードの有効期限は令和7年3月31日ですが、期限の延長について国土交通大臣に要



ふるさと帰還通行カード

望しています。

引き続き、被災した町民の皆様のおふるさとへの帰還や離散した家族間の往来といった町外避難の実態に則し、期限の延長については継続して要望していきます。

帰還困難区域の管理について

質問 帰還困難区域と隣接する農地の管理をしています

が、帰還困難区域で繁茂する草により農地管理に苦労しています。また行政区内には2軒帰還されたお宅がありますが、町道を挟んだ帰還困難区域は草が繁茂しています。避難指示が解除された農地の管理や居住地に隣接する帰還困難区域の管理についての町の考えを伺います。

企画財政課長 現在取り組んでいる特定帰還居住区域の制度をしっかりと進め、早期に除染等に着手し避難指示解除につなげることで、農地等の管理が適正に行われるよう引き続き取り組んでいきます。

防災について

質問 非常食について、各地区の防災コミュニティセンターや防災センターなどにどれくらい保存しているのか伺います。

総務課長 非常食については、非常用米、アルファ米が、約2,000食、非常用パンが約1,000個、みそ汁、スープ

が、約1,000食、ペットボトルの水を約7,300本用意しています。

再質問 非常食についてですが、食生活もさま変わりして、食品アレルギーが問題になっていて、今分かっているだけで28品目のアレルギー食品があるそうです。町で準備している非常食はアレルギー対応食なのでしょうか。

総務課長 現在準備している非常食については、アレルギーの対策の物はありません。

ただ、対応はしていませんが、アレルギー性のあるものについて、乳製品とか、そういったことについての表示はしていますので、そういう方がいたら食べないようにするとか、今後アレルギー対応の非常食の導入に対して検討していきます。



備蓄されている非常食

わたなべ

やすひこ

渡邊

泰彦

議員



Q 国の行政事業レビューを受けての対応は

A 制度の継続を国に求めました

国の行政事業レビューについて※1

質問 政府の行政事業レビューにおいて、第2期復興・創生期間後に、福島再生加速化交付金及び自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金の見直しを検討することが決まりました。

浪江町として従来通りの補助事業の継続を申し入れるべきと思いますが、町の考えをお尋ねします。

町長

浪江の復興は多岐にわたり、それぞれ様々な分野にわたります。

当町においては、震災から20年以降も国の支援は必要という訴えをさせていただきました。

このレビューを受けて、国に対しては、新たな制度の継続、新たな制度の創出を踏まえて、我々執行部としても、今後、継続的に傾注しながら国に要望していきます。

成井副町長

民間企業を町に誘致するための優遇制度である

自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金は必要不可欠です。変更スキームでの制度継続と十分な予算の確保、地域の実情を踏まえた制度運用を引き続き国に強く求めています。

公共施設の運営について

質問 国の補助金や交付金が不透明になる中、PFIの活用はさらに必要になると思います。

官民連携による戦略的手法により、町の財政負担を平準化することが重要と思いますが、町の考えをお尋ねします。

成井副町長

町の財政状況や人口動態、公共施設の老朽化などに適切に対応しながら、持続可能なまちづくりを実現することは喫緊の課題です。

現在、町では公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫を活用し、財政資金の効率的手法や行政の

効率化等を図るPPPの活用、公民連携によるまちづくりの検討を進めています。

研究施設へのかかわりについて

質問

浪江町では、FIR E Iの建設が進んでいます。

東北地方での先進地の鶴岡市「サイエンスパーク」は、町でも視察研修を実施していると思いますが、具体的に参考になる事例についてお尋ねします。

市街地整備課長

まず、雇用面において、サイエンスパーク内の雇用の約580名のうち、約8割が市内居住であることや、最先端の研究やベンチャー企業の立地などが魅力的な雇用となり、若者の定住人口の増加の要因になっています。

次に、立地による経済波及効果が、3年間の平均が41億円としており、小売業、建設業、運輸業、住宅賃貸など、直接研究に関わらない業種には広く効果

が及んでいます。FIR E Iにも同様な効果が期待できますので、地域経済の好循環に寄与できるように取組みの支援と各種調整を進めています。

※1 行政事業レビュー

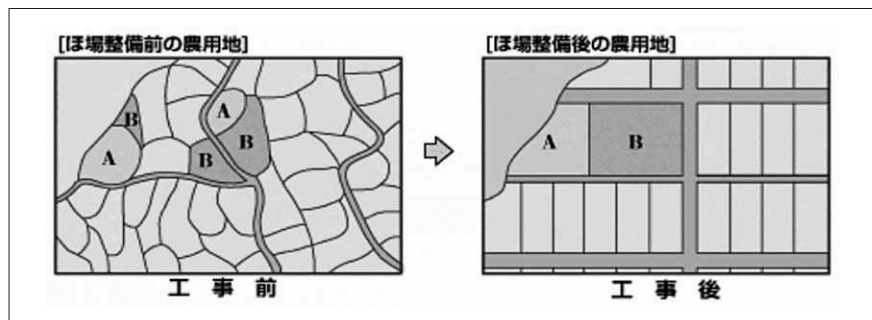
国の予算執行や事業の妥当性を有識者が公開の場で検証するもの。



やまもと こういちろう
● 山本 幸一郎 議員 ●

Q ほ場整備費の事務費負担が工事費の2%はなぜか？

A 請戸川土地改良区事業受託規程第5条において委託料は総事業費の2%と定められている



営農をしやすくするほ場整備事業

農地整備事業（ほ場整備）について

質問 工事資材が上がれば総事業費も上がる。それに伴い、土地所有者が負担する定率の事務負担金も上がる。事務の内容は変わらないはずなので見直しを行う予定はないのでしょうか。

農林水産課長

12月3日に請戸川土地改良区の理事会において請戸川土地改良区事業受託規程の一部改正が行われ、年間反当り3,500円とし、事業受託翌年度から事業完了年度まで徴収するとする負担金の軽減が決まりました。また、受託料に過不足が生じた場合は徴収または返金等の取り扱いをすると伺っております。

質問

県営かんがい排水路の整備、管理はだれが行うのでしょうか。

農林水産課長

請戸川土地改良区に財産譲与されているため、維持管理は請戸川土地改良区が担っていると伺っています。

浪江駅周辺整備事業について

質問

浪江駅周辺事業の竣工は令和9年3月末となっています。予定通りに進んでいるかお伺いします。

市街地整備課長

整備を進めるにあたり、様々な課題が生じ



駅周辺整備事業 整備後のイメージ

ておりますが、予定工期に間に合わせるように鋭意努力していきます。

成井副町長

工期の変更等が明確になった段階で議会、町民に説明をさせていただきます。

質問

限研吾設計の建物は木が多く使われていますが、維持管理、メンテナンスはいくら

かかるのでしょうか。

市街地整備課長

限研吾氏の設計で建築を行った自治体を視察し、事例調査で7年から9年に一度500万円程度の塗装の塗り替えを行っていました。維持管理費を抑える観点から、塗料の研究や雨対策を講じていきます。

仮設津島診療所について

質問

仮設津島診療所は県から無償で借りています。いつまで続けていけるのでしょうか。

仮設津島診療所事務長

診療人数が年々減少傾向にあります。健康の保持増進と診療所の運営状況等を踏まえつつ、町民の皆様のご意見を伺いながら適切に判断していきます。

● 総務常任委員会 ●

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件（12月定例会中）を審議しています。

委員長 半谷 正夫
副委員長 吉田 邦弘
委員 小澤 英之
佐々木 茂
平本 佳司



■ 企画財政課 ■

ふるさと納税、返礼品は

問 ふるさと納税の返礼品として、体験型は検討しているか。

答 町ホームページで返礼品協力事業者を募集しています。現在、リアクションがないため、違うアプローチ方法で検討しています。

■ 住民課 ■

除草剤の配布状況は

問 除草剤の配布状況は。来年度も配布するのか。

答 令和6年12月9日現在、1,581人に3,162個を配布しました。来年度については検討しています。

■ 企画財政課 ■

なみえ新聞の閲覧者数は

問 なみえ新聞の閲覧をしている方は、どれぐらいいるのか。

答 約900人弱の方々に見ていただいています。スマートフォンやタブレットの使い方でわからないことがある人向けの相談会などで、なみえ新聞の利用についてもご案内しております。



町民向け情報発信サイト「なみえ新聞」

■ 総務課 ■

移動投票所は

問 選挙の投票率を上げるために、移動投票所を増やせないか。

答 選挙管理委員会で協議しながら、検討していきます。



移動投票所

■ 津島支所 ■ 津島地区公共トイレは

問 なぜ修繕が必要になったのか。

答 何者かが雨どいを破損したため修繕します。今後は、防犯カメラの設置や破損に対する保険の加入等を検討します。

● 産業・建設常任委員会 ●



委員長 渡邊 泰彦
副委員長 武藤 晴男
委員 山本幸一郎
松田 孝司
紺野 榮重

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、市街地整備課、農業委員会が所管する案件（12月定例会中）を審議しています。

■ 産業振興課 ■ 町内産業団地の状況

問 各産業団地の企業進出状況は。（内定・商談中含む）

答 藤橋産業団地は、6 企業が進出し、1 区画は商談中です。
北産業団地は、2 企業進出して 1 区画は立地内定です。
南産業団地は、4 企業進出して 1 区画は立地内定、2 区画は商談中です。
棚塩産業団地は、5 企業等が進出しておおむね完了です。
棚塩RE100産業団地は、5 区画造成中です。
新たな産業団地は、川添地区（F-REI南地区）に約10haを整備予定です。

■ 建設課 ■ 町内インフラ整備

問 町内インフラ整備工事などについて

答 ①町道は両竹請戸線道路修繕工事、橋梁は天神淵橋橋梁補修工事、その他は津波被災地域排水対策測量設計委託を実施中です。
②災害復旧工事（令和5年災 堀知木川法面補修）を実施しました。
③町道整備事業として、除草作業を年2回実施しました。（避難指示解除区域266km、帰還困難区域127km）

■ 農林水産課 ■ たため池放射性物質対策の運用追加

問 たため池等に流入した放射性物質対策の工法変更は。

答 ①放射性物質の再集積が起こりづらいバックホウ工法を検討し、困難な場合はポンプ工法とする。
②放射性物質が確認された最深部を除去する深さとして対策範囲を施工する。
③品質管理点を1,000㎡当たり3点以上から5点以上に（ポンプ工法）。

■ 住宅水道課 ■ 支援金・補助金

問 令和6年4月から、11月現在までの、支援金・補助金についての実績は。

答 ①被災者生活再建支援金は、105件
②住宅清掃費補助金は、4件
③住宅再建補助金は、13件
④個人住宅用再生可能エネルギー設備導入補助金は、20件
⑤住宅鳥獣被害対策補助金は、8件
⑥空き地・空き家バンク登録件数は、156件
空き地・空き家成約件数は、7件

■ 市街地整備課 ■ F-REI 関連事業

問 F-REI 関連について、各事業の報告は。

答 ①多言語化促進事業（英会話教室）を令和6年には月1回実施し、令和7年以降も複数回実施します。また事業者向けの英会話教室も実施していきます。
②F-REIセミナーや科学教室などの気運醸成事業も開催をします。
③浪江国際研究学園都市構想の推進のため、浪江駅西地区市街地拠点形成に向けた調査業務、公民連携セミナー等を開催していきます。

● 文教・厚生常任委員会 ●

教育総務課、生涯学習課、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件（12月定例会中）を審議しています。

委員長 佐々木勇治
副委員長 紺野 豊
委員 紺野 則夫
高野 武
山崎 博文



■ 生涯学習課 ■

復興海浜緑地（多目的広場）

問 復興海浜緑地（多目的広場）の進捗状況は。

答 11月末現在の造成工事進捗率は17.9%で計画通りです。



震災遺構浪江町立請戸小学校側から見た工事現場

■ 健康保険課 ■

後期高齢者の資格確認書

問 資格確認書の発行予定は。

答 後期高齢者医療保険については、令和6年12月2日から令和7年7月31日までの期間は、マイナ保険証を持っている、持っていないにかかわらず「資格確認書」を交付することに変更となりました。

後期高齢者医療資格確認書	
有効期限	令和7年7月31日
交付年月日	令和6年12月2日
被保険者番号	12345678
住所	福島市広城一丁目〇〇番地
氏名	安城 太朗
性別	男
生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
資格取得年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
資格取得理由	〇〇年〇〇月〇〇日
認定区分	〇〇年〇〇月〇〇日
認定区分	〇〇年〇〇月〇〇日
特定疾病区分	〇〇年〇〇月〇〇日
特定疾病区分	〇〇年〇〇月〇〇日
保険者番号並びに保険者の名称及び印	3 9 0 7 0 0 0 0 0 0 福島県後期高齢者医療広域連合 印

後期高齢者医療「資格確認書（見本）」

■ 教育総務課 ■

浪江にじいろこども園

問 浪江にじいろこども園増築の進捗状況は。

答 土地購入については地権者2人からの了承は得ており、土地の購入費用を補正予算で上程し、議会の承認後に購入の予定です。

問 増築後の定員数は。

答 現在0歳児から5歳児までの合計90人ですが、増築後は合計150人の予定です。

■ 健康保険課 ■

带状疱疹ワクチン接種

問 带状疱疹ワクチン接種費用の助成は。

答 带状疱疹ワクチンの定期接種化については、報道のとおりで、厚生労働省から正式な通知は来ていません。

■ 浪江診療所・仮設津島診療所 ■

マイナ保険証

問 11月までのマイナ保険証利用率は。

答 浪江診療所においては、7～10%、仮設津島診療所においては、3～4%です。

■ 介護福祉課 ■

給付金

問 物価高騰に対する給付金は。

答 低所得世帯への給付金が予定されています。物価高騰に対して、住民税非課税世帯に1世帯あたりに3万円の給付、このうち子育て世帯は、こども一人当たり2万円加算予定です。

●議会報編集特別委員会視察研修報告●

視察者

委員長 松田 孝司
副委員長 小澤 英之
委員 武藤 晴男

視察日

令和6年8月1日(木)～2日(金)

視察先及び視察内容

(1) 美里町議会 (宮城県)

①編集体制及び編集方針

ア. 編集体制

広報、広聴常任委員会 広報分科会 (6名) にて実施 (*従来は「議会だより編集特別委員会」であったが、令和6年2月5日より変更)

イ. 編集方針

町民に親しまれ、読みやすい議会だよりにする。

②発行回数及び発行日

広報誌は、年4回 (5、8、11、2月) であり、定例会の翌々月1日発行

ただし、必要に応じて臨時号を発行

③特色

ア. 表紙を子どもの写真を使用し、表紙写真の説明文を掲載

イ. 写真を多用し読みやすい紙面づくりを行っている

ウ. 常設企画による広聴企画や住民からのコメント掲載

- 「クイズ」「みなさんの声：クイズに寄せられた内容」「ふれあいコーナー YELL (エール)：町内の団体の紹介」「追跡：予算・決算審査におけるその後の報告」「みなさんの出番です：町民皆さんの意見反映」

エ. 第162号 (令和3年11月1日発行) より、広報モニターの意見を反映し横書きとし、合わせて右綴じから左綴じへ変更

オ. 校正においては、委託業者についても会議に参加

(2) 女川町議会 (宮城県)

①編集体制

●議会広報調査特別委員会として6名で実施 (原則委員のみで行い、事務局は参加しない)

●委員構成においては、現・前副議長、前委員長、ベテラン議員及び1から2期の議員

②発行回数及び発行日

発行は、年4回定例会翌月 (1、4、7、10月) の中頃発行

目的

「なみえ議会だより」編集方針に基づき、議会活動について町民の正しい理解と関心を深められるようにするため、町村議会広報全国コンクールにおいて受賞されている美里町議会及び女川町議会を視察し、当町議会広報編集に資するため研修を実施した。



宮城県美里町にて



宮城県女川町にて

- 定例会前にレイアウト・掲載記事等を検討し、定例会翌月発行としている。

③特色

ア. 表紙は子ども2人以上の写真を使用し、裏表紙に表紙説明文を掲載

イ. 一般質問については、QRコードを活用し簡単に動画を視聴

ウ. 「キラキラ・いきいき」のコーナーを設け、女川で輝いている人、団体を紹介している

エ. 大・小見出し、写真の多用により見やすい紙面

総括

①大見出し・小見出しの活用、写真を多く用いること等読みやすく分かりやすい紙面づくりとなっている。

また、各種コーナーを設け、多くの町民・団体を取り上げており親しみのある紙面となっている。

②先進事例に基づき改善を図り、町民の方々が読みやすく分かりやすい紙面づくりに心がけることが必要と感じました。

●総務常任委員会視察研修報告●

視察者

委員長 半谷 正夫
副委員長 吉田 邦弘
委員 小澤 英之
佐々木 茂
平本 佳司

目的

避難指示の一部が解除となり7年経過するが、浪江町への町民の帰還は思うように進んでいるとは言えない。そのため、町民の帰還促進や流入人口の増加を図るため、移住・定住促進施策の先進事例を視察研修し、これらの推進を図る。

また、東日本大震災以降、国内では様々な自然災害が発生し、今年1月には能登半島地震が発生した。この能登半島地震からの復旧・復興状況および復興計画策定への取り組み状況について視察研修し、今後起こりうる災害からの復旧・復興に資する。

視察日

令和6年10月15日(火)～17日(木)

視察先及び視察内容

(1) 富山県入善町 「移住・定住の取り組みについて」
『入善町安心移住プロジェクト』

1. 検討支援事業

移住希望者の相談、町訪問、お試し移住など、移住の検討にかかわるプロセスをサポート

2. 交流支援事業

移住希望者が移住を検討する際、地域住民や先輩移住者との情報交換や交流活動などをサポート

3. 居住支援事業

移住希望者に対し、住まいや暮らしに関して、移住を後押しする各事業を展開し居住面からサポート

4. 就業支援事業

移住希望者の生業を確保するため、体験や支援制度など各事業を展開し就業面をサポート

5. 移住支援事業

都会からの移住者の懸案となる交通手段について、支援制度などを設け、移動面からサポート

『子育て支援』

○「結婚、妊娠、出産、子育て」のライフステージに応じた切れ目のない支援が充実。町全体が「ゆりかご、になることを目指して親子をサポート

○不妊・不育症治療費助成、治療費9割（限度なし）

○結婚プロジェクト 町が主体となりお見合いパーティーを開催

『働く人への支援』

就業・起業のサポートをするための様々な支援制度があり、多種多様な仕事の中から、自分に合った仕事を選択することができる。体験就労も充実している。

(2) 石川県中能登町 「復旧・復興について」

避難状況によって、10年かかるか15年かかるかわからない状況で、中能登町も浪江町と同じように、志賀原発が隣接しているため、最悪の事態も考えなければ



富山県入善町にて

ばいけない状況である。

中能登町は、65歳以上の夫婦や单身の方が非常に多い地域である。

避難所でも、家でも、声を挙げづらい状況を見て、隣接市にある病院の女性医師が女性を支援、物資を提供する場を立ち上げてくれていた。中能登町も賛同し、同じ活動を始めた。

復興・復旧にはまだまだ時間を要するため、アンケートを基にタウンミーティングをいろいろな場所で開催し、町民の声を聴きながら復興を進めている。今後も地域での説明会を開催し、町の復興状況を説明しながら、県と相談をし、まちづくりに役立てていく。

(3) 石川県志賀町 「復旧・復興について」

『志賀町復興計画』 基本理念：かえる志賀町

○人が帰る（町民に帰ってきてもらう）

町外に避難した方が早期に安心して帰れるようにする。

○元に戻る（正常な暮らしと生業を取り戻す）

震災前の正常な暮らしを取り戻し、生業を復活・再生する。

○街を変える（新しい町を創造する）

町を元の姿に戻していく中で、持続可能な災害に強い社会基盤整備するなど、新しい志賀町を創っていく。

総括

令和6年1月の能登半島地震及び豪雨災害からの復旧状況（中能登町・志賀町）を視察して、当町においては、地震及び原発事故により14年前に全町避難という、あってはならないことに強いられましたが、まず自然災害だけからの復旧・復興とは違うことを痛感しました。しかしながら、未だに復旧されていない現状は、我々14年前と同じ苦しみがあると感じました。

また、志賀町においては原子力発電所立地町として、当時の避難経路、避難対策・対応をお聞きしたかったのですが、一部火災はあったものの被害がなかったということでした。町内には建物等の被害があり、仮設住宅によりよく（10か月過ぎて）入っている方もおります。議会としても、当時町民との意見交換も対応もできなかったとのことで、同じことを感じました。今後は、万一の時の対応、議会としてのBCP（事業継続計画）を考えておくべきかと思います。

また、富山県入善町では、流出人口を抑えながらも移住・定住の施策の先進事例の取り組みを視察して、まず感じたのは担当職員の熱い想いが伝わるプレゼンでした。様々な取り組みを参考に、当町においても「選択されるまち」としてもっとPRすべきと感じました。

●産業・建設常任委員会視察研修報告●

視察者

委員 長 渡邊 泰彦
副委員長 武藤 晴男
委員 山本幸一郎
松田 孝司
紺野 榮重

目的

浪江駅周辺やF-REIの整備が今後本格化していくにあたり、駅前中心市街地整備や先端研究施設等の先進地事例を視察研修し、知見を広げ理解を深め、これらの推進を図る。

視察日

令和6年11月11日(月) 山形県長井市議会
令和6年11月12日(火) 山形県鶴岡市議会

視察先及び視察内容

(1) 長井市商工振興課

ア. 中心市街地活性化への取り組みの説明

- 市役所（鉄道一体型）視察
- コンパクトシティの計画は15年計画で、9年目である
- 道の駅も含めた公共施設をあえて市街地に整備した
- 山形鉄道フラワー長井線が上下分離方式を導入した
- 防災拠点として高い基準をクリアしている
- 長井市交流施設（くるんと）視察
→市役所・駅舎と併設された図書館と子育て世代活動センター併設施設

イ. 質疑

- 他地区の空洞化は有るのか
→各地区には合意を戴いているが、今後第2期、第3期で検討して行く
- 市内中心に大きな各施設が集中する問題があるのではないか
→当施設は令和5年度開設して、現時点では良好な運営になっている
- 病院・保育所等他の各施設を入れたら如何か
→子育て支援センターで一時預かり・ファミリーサポートセンター機能は運用中、その他の施設は今後検討

(2) 鶴岡市政策企画課

ア. 鶴岡サイエンスパークの役割・概要説明

- 各フロアー（研究施設）案内
- 慶応義塾大・山形県・鶴岡市との関係



山形県長井市にて



山形県鶴岡市にて

イ. 質疑

- 運営状況は
→先端研究施設はほぼ、満室の状況
- 市民に対してサイエンスパークはどのように関わっているか
→鶴岡サイエンスパークまつり、高校生バイオサミットin鶴岡を開催している

総括

長井市議会視察研修の成果として、駅舎と一体となった市役所及び現地の視察を行い、庁舎を中心としたコンパクトシティの推進や関連施設の在り方などを学べたので、浪江駅周辺整備事業に研修の成果を活かしていきたい。

また、市庁舎及び周辺に公共施設の集約を図った点や、交流人口を増やす仕組みを考える手段として研修成果を活かしていきたい。

鶴岡市議会視察研修の成果としては、鶴岡サイエンスパークの現地説明を受け視察を行い、研究所の運営方式や管理方法、進出企業とのかかわり方などを学べたので、F-REIに関わるまちづくり事業に研修成果を活かしていきたい。

● 文教・厚生常任委員会視察研修報告 ●

視察者

委員長 佐々木勇治
副委員長 紺野 豊
委員 紺野 則夫
山崎 博文

視察日

令和6年11月19日(火)～20日(木)

視察先及び視察内容

(1) 山形県高島町

- 子育て支援等に関する取組について
- 屋内遊戯場もっくるについて（施設見学を含む）
《伴走型相談支援・出産・子育て交付金は一体的に実施している》
伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金
対象：妊婦、産婦

○ 伴走型相談支援の具体的内容

産前・産後のサポート実施

- 乳幼児期 スマイルサロンの開設
- 産後のパパママ学級の実施
- 産後の電話、訪問の実施
- 産前、妊娠 母子健康手帳の交付

《令和6年度から高島町子ども家庭センターを開設している》

○ 開設日：令和6年4月

○ 具体的内容

- 妊産婦・乳幼児窓口の開設
- 子育て相談窓口の開設

《まとめ》

山形県屋内遊戯場「もっくる」を視察研修した成果として、廃校となった中学校の体育館を改築して再利用している点に加えて、施設内の構造・仕上げ材は可能な限り町産材の杉材を使用している点を鑑みて、今後このような施設を建築する場合は参考になると思われるので、この研修を生かして参りたい。

(2) ピースひがしね（山形県東根市）

- 施設内の見学
- 施設の沿革及び事業内容について

《事業内容》

- 硬式野球ボール製造販売（主な収入源）
- 障がい福祉サービス
- 障がい児通所支援等

《基本理念》

『ものづくり・人づくりを通じて未来をつくる』

目的

浪江町内の園児・児童が年々増加傾向にあり、必要とされる子育て支援のさらなる取組と同時に、児童発達支援などの児童福祉について視察し、復興からのまちづくりに伴い、これらの推進を図ることを目的とする。



高島町屋内遊戯場「もっくる」にて



「ピースひがしね」にて

- ひとづくり（障がい者に対する就労支援）
- 当たり前の生活を支える
- 相談支援等を取り組む

《まとめ》

山形県東根市のピースひがしねの視察研修の成果は平成28年に児童の療育及び医療ケア事業を開所するにあたってスタッフの募集をかけたところ、医療従事者の確保が難しいなかで定員より非常に多くの応募があったことに衝撃を受けた。

開設に係る市の補助金などはなかった中で開所し、職員の定着率が高く、途中退職される方が少ないことも参考にしていきたい。

総括

「ものづくり・人づくりを通じて未来をつくる」研修の成果として、当町も人材育成を目的とするような施設もあるということを学んだ。

また、こども園やげんきパーク、放課後児童クラブにも町の特産品などを、遊びながら学べるしくみも取り入れていきたい。

議会活動の経過報告

10月11日～
令和7年1月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

10月

- 11日
 - 議会報編集特別委員会
 - 文教・厚生常任委員会
- 15日
 - 総務常任委員会行政視察（～17日）
（富山県入善町、石川県中能登町、志賀町）
- 21日
 - 産業・建設常任委員会
- 25日
 - 県町村議会議員研修会（郡山市）

11月

- 11日
 - 産業・建設常任委員会行政視察
（～12日）（山形県長井市、鶴岡市）
- 13日
 - 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会（富岡町）
 - 第68回町村議会議長全国大会
（東京都）
- 15日
 - 双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会（富岡町）

- 18日
 - 双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会（富岡町）
 - 議会運営委員会
- 19日
 - 文教・厚生常任委員会行政視察
（～20日）（山形県高畠町、東根市）
- 23日
 - 町民交流会（～24日）
- 26日
 - 全員協議会
- 29日
 - 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会（富岡町）

12月

- 4日
 - 議会運営委員会
- 10日
 - 12月定例会（～17日）※1
- 27日
 - 議会報編集特別委員会

1月

- 8日
 - 議会報編集特別委員会
- 10日
 - 議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ
（浪江町議会→会議結果一覧）をご覧ください。



会議結果一覧へ
アクセスします

議長活動報告

令和7年

10月11日～1月10日

10月

- 13日
 - つしま肉まつり（津島支所）
- 15日
 - Pacific Hydrogen Alliance※2 歓迎レセプション（副議長出席）
（いこいの村なみえ）
- 21日
 - 駅前周辺事業起工式
（権現堂字下柳町）
- 31日
 - 浪江町・浪江町議会合同要望活動（本庁舎）
 - 浪江町子ども議会（本庁舎）

11月

- 3日
 - 第52回浪江町功労者表彰式（如水）
- 5日
 - 復興海浜緑地（多目的広場）建築工事安全祈願祭（請戸地内）
- 7日
 - 大熊町政執行70周年記念式典（副議長出席）
（linkる大熊）
- 17日
 - 第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場選手慰労会（副議長出席）
（福島市内）
- 20日
 - 浪江町・浪江町議会合同要望活動（本庁舎）

- 22日
 - 浪江町・浪江町議会合同要望活動（本庁舎）
- 23日
 - 復興なみえ町十日市祭
（地域スポーツセンター）
- 27日
 - 叙勲伝達式（本庁舎）

12月

- 23日
 - 双葉地方町村会・町村議会議長会合同要望活動（東京）
- 24日
 - 復興祈念公園管理棟建築工事起工式（双葉町）
- 25日
 - 浪江町・浪江町議会合同要望活動（副議長出席）
（いこいの村なみえ）

1月

- 8日
 - 双葉消防本部出初式（富岡町）

※2 太平洋水素共同体（浪江町・米国ランカスター市・ハワイ郡で水素利活用連携組織を設立）

町内で開催された十日市祭において、屋内のブースにおいて議員と町民の交流の場を設け、町民の皆さまより議会に対して直接意見をいただく大切な機会となる交流会を開催しました。

アンケートの結果は以下のとおりです。

十日市にて 町民交流会を 開催いたしました

日時：令和6年11月23日(土) 10:00～15:00
11月24日(日) 10:00～15:00
場所：浪江町地域スポーツセンター



町民交流会の様子

1 回答者内訳

男	女	無回答	計
23人	19人	18人	60人

2 回答者年代

年 代	人 数	割 合
10代	0人	0.0%
20代	1人	1.7%
30代	5人	8.3%
40代	4人	6.7%
50代	11人	18.3%
60代以上	39人	65.0%
合 計	60人	100.0%

3 議会に対する評価

記述意見
19ページ参照

内 容	件 数	割 合
1. 大いに評価	13人	21.7%
2. ある程度評価	20人	33.3%
3. あまり評価しない	3人	5.0%
4. 全く評価しない	1人	1.7%
5. わからない	15人	25.0%
6. 無回答	8人	13.3%
合 計	60人	100.0%

4 町の復興のため最も必要と思うもの ※複数選択

内 容	件 数	割 合
1. 帰還困難区域全域の面的除染と避難指示の解除	11人	15.5%
2. 町の基幹産業である農業・漁業の再生	4人	5.6%
3. 教育、子育て、医療、介護等の住民福祉サービスの充実	24人	33.8%
4. 町内の生活環境等の充実	21人	29.6%
5. 居住人口増加のための移住・定住促進対策の充実	11人	15.5%
合 計	71人	100.0%

5 町への要望

記述意見
19ページ参照

分類項目	件 数	割 合
1. 病院、学校等の施設整備に関すること	5人	15.2%
2. 商業施設に関すること	4人	12.1%
3. 上記以外の生活環境整備に関すること	7人	21.2%
4. 居住人口増加に関すること	2人	6.1%
5. その他	15人	45.4%
合 計	33人	100.0%

議会の役割は、町民の様々なご意見を町の施策に反映させることが第一であります。皆さまからいただきました貴重なご意見・ご提言をしっかりと受け止めて、議会として町をはじめ、国、県などの関係機関に働きかけてまいります。議会に対する厳しいご意見もいただいておりますので、真摯に受け止めしっかりと改善してまいりたいと思います。

なお、今後もより多くの町民の皆様にご参加をいただけるような交流会を検討してまいります。

3 議会に対する意見の一部抜粋

内 容	備 考
●私達も発行されている「議会だより」を見えています。その中で、おひとりおひとりの意見も見させていただきます。皆さんとの会話も楽しみにさせていただいています。	活動
●できることを精一杯やっていращやるから。	活動
●皆さんが、いろんな立場でいろんな活動で頑張られていると思うからです。	活動
●町議会の活動がなかなか表面化してこない。	活動
●いつもお世話になっています。	活動
●議会の皆様頑張ってください。感謝するのみです。	活動
●いろいろなご意見をいただけるため。	活動
●子どもを育てる目線をお願いします。	活動
●町の再生のため全力で励んでください。	活動
●外国人が多く来町するなど、多様な需要が予見されると思いますので、ニーズに広く対応できるようなまちづくりをお願いしたい。	活動
●あまり議会の動きがわからない。あまり期待しない。	活動
●時々、町の状況を説明してほしい。	活動
●箱モノしか見えてこない。	その他
●イベント時、浪江町からバスを出してほしい。(大熊町、双葉町同様に)	その他
●議員さんで町内に住んでいる人何人いますか。町民を帰らせて、町の要望を聞く人もいない。年寄りの交通手段、病院に行くのに。	その他
●町長の一存で隈研吾さんの設計になったのでしょうか。	その他

5 町への要望の一部抜粋

内 容	分類項目
●浪江高校を再校	1
●医療の充実	1
●病院の設置	1
●生活用品等の店を。(食料品店はありますけれど)	2
●浪江に泊まってみて、買い物不便であり、商店の充実を望む。	2
●サンプラザが帰町してほしいです。	2
●商工業の再生に力を入れていただきたい。その結果、多様な方が居住しやすい町となれば良いと考える。	2
●環境整備に気を配ってほしい。	3
●害虫駆除 (イノシシ、サル、ハクビシンなど)	3
●娯楽施設の整備	3
●交通機関の充実	3
●買い物 (服とか)、病院、居酒屋	3
●人口が多くなること。	4
●居住人口を増やさないと復興にならない。移住人口増やすため、できる限り補助すべきと思う。	4
●町としても大切だと思います。同じように、町にいる人、町にいない人、それぞれの立場で行動する、行動してみることも大切かと思っています。	5
●心の温かい気持ちを感じながら住める町	5
●特にありません。今、町の皆さんは十分に頑張っているの、このままで良い町になると思うからです。移住の人も帰還の人も交流するチャンスが多いのがとても良いと思うので、そうした支援を続けてほしいです。	5
●復興事業を持続可能な運営をきちんと進めてほしい。	5
●議員さんがもっと現場を見て行動してほしい。	5
●震災遺構としての請戸小学校の整備とともに、その遺構の有効活用をするとともに、震災の防災教育を請戸小学校を活用し充実させてほしい。	5
●駅前再開等で新しく町が変わるが、ますます復興してほしいと思う。	5
●子育て制度が充実するとよいと思います。奨学金制度など。	5
●高速道路無料延長と医療費の無償化の延長	5
●F-REIの成功	5
●町村の連携	5
●子育て世帯に優しい町を。町施設は、土日他、町の住民でいっぱいなため。	5
●旧町民の声なき声を聴いてもらえるようお願いします。	5
●頑張ってください。	5

町民の声



自分たちの町・浪江



半谷 珠代さん
(田尻)

みなさんの集まる所、老人クラブの集まりなどに参加する機会が多くなりました。そうした中、最近よく耳にするようになった事があります。

「浪江に帰りたい!!」「でも避難先に家を作り、資金がない」「気軽に相談できる所、窓口があればなあ」と、言う声です。私達夫婦も、もう72才です。「浪江に帰ろう」と話している今日この頃です。

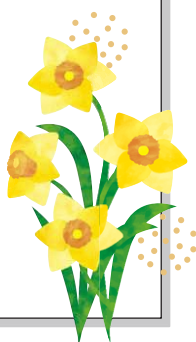
そうした考えで、帰ってきた。老人や、若者達が暮らしたい町にするには、やはり、皆さん一人一人の声が大切です。

これからできる「FIRE」大きな入れ物になるはずです。人も沢山集まってきました。であれば、立派な医療機関をつくって、町民も気楽に利用できるように、子供を産

み、安心して子育てができ、安心して死んでいける、町づくりをしてほしいと思います。
みなさん、もう少し、わが町浪江を覗いてみてください。戻ってきている人達みんな元気に楽しんでます。町議さんとのお話し会や、イベントに参加「なみえスクール」という集まりも、だれでも参加できます。
老人クラブ「フレッシユかもめ」ニュースボーツ、グランドゴルフ、みんな元気に楽しく頑張っています。まずは、帰ってきて、みんな声あげましょう。
自分たちの町です”

「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局（☎0240-34-0254）または、議会報編集特別委員にご連絡ください。



編集後記

日頃から議会だよりをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
さて、議会だよりで掲載しました「町民の声」の中で、一部、個人的誹謗中傷の表現があると町民の方から指摘が寄せられました。

掲載内容は個人の意思を尊重し、原文のまま掲載すべきものと考えております。しかしながら、一部の町民の方々に不快な思いをさせてしまったことは事実であり、今後は、町民の皆様への配慮を心がけ、適切な議会報の編集に努めてまいります。

皆様には、これまで同様、議会に対するご意見、ご要望をお寄せいただきたく、お願い申し上げます。

発行責任者 浪江町議会議長 平本 佳司
議会報編集特別委員会 一同

発行責任者

議長 平本 佳司

議会報編集特別委員会

委員長 松田 孝司

副委員長 小澤 英之

委員 武藤 晴男

紺野 豊

吉田 邦弘

紺野 則夫